

氏名 北村 道彦

所属 町立西和賀さわうち病院

役職 統括院長

これまでのキャリア

昭和 49 年東北大学医学部卒業、国立水戸病院外科で 3 年間研修。海軍式教育、屋根瓦式教育、Outcome Based Education を体験。

平成 8 年秋田大学医学部主催の指導医講習会に初めて参加。

平成 16 年、医師臨床研修開始にあたって、岩手県の主催する第 1 回指導医講習会参加、日本医学教育学会の諸先輩の指導を受け、以降、研修医教育、医療者の生涯教育をメインテーマの一つと自覚。以降、指導医講習のタスクフォースを数多く経験。

岩手県立胆沢病院臨床研修委員会委員長（平成 16 年度～平成 20 年度）。

東北大学医学部臨床教授（平成 15 年 4 月～平成 25 年 3 月）

岩手医科大学医学部臨床教授（平成 22 年 4 月～平成 26 年 3 月）

平成 21 年度～25 年度、岩手県立中部病院院長として医師臨床研修はじめ各職種の生涯教育を充実する活動を推進。

平成 26 年～、町立西和賀さわうち病院院長、その後総括院長として、連携する基幹病院の臨床研修医を受け入れ、地域医療研修の指導医ならびに指導責任者として関与し、加えて、医学を目指す仲間の職場体験や実習の積極的受け入れ展開中。

私のもとではこれが学べる

私は平成 26 年から、岩手県南西部の 40 床の町立病院に勤務しています。病院のある西和賀町は高齢化率が 50%を超えており、障害をお持ちの方の思いに寄り添いながら、地域の生活に戻る医療を、行政や地域の介護・福祉に関わる全ての職種の方と力を合わせて展開しています。町民の健康を守り増進する保健活動にも力を入れています。このようなチーム医療、多職種医療、シームレス包括医療を一緒に勉強していきましょう。

教育にかける思い

「人生の目的」は、自分の能力を引き出し伸ばすこと、他の人と好ましい関係を創ること、そして他の人の人生に意味のある貢献をすること。

「医療者の使命」は、病気を予防し治すこと、病み傷つく方に寄り添うこと、後輩の成長を促すこと。

平成 16 年の臨床研修制度が開始された時に、先輩から教えてもらった、「人生の目的」と「医療者の使命」をテーマとして、医療者や医療を目指す仲間とともに歩み、成長したいと考えています。

医学生へのメッセージ

「不安にならないで」：臨床の現場には、医師が成長するための、長い歴史があります。学生時代は、よく学び、よく遊び、そして、安心して、卒後の世界に飛び込んで下さい。

「受け身にならないで」：卒後の第1歩は研修医として出発です。研修システムは、長い歴史の中で、指導医と研修医そして全ての医療関係者の努力で構築されてきました。研修医の皆さんは（医学生も）、受け身にならずに、積極的な姿勢で研修に（実習に）取り組んで下さい。そして、自らが受ける教育の改善を積極的に発信して下さい。

「患者さんの声を聞いて下さい」：医療過疎に悩む岩手県民は、医師を目指す皆さんの成長を、心から願っています。是非、病院実習に来て下さい。患者さんに言葉をかけてあげて下さい。患者さんの、医学生の皆さんに期待する熱い気持ちを実感すると、きっと勇気が湧いてきます。